

# ／ まちの話題 ／



3 / 30

## 待機児童解消に向け 松柏小学校放課後児童クラブ拡充



3月30日に松柏小学校放課後児童クラブの開所式が行われました。同クラブは、松柏小学校の児童数の増加に伴い手狭になっていたことに加えて、待機児童も増加。これらに対応するために小学校の隣接地に建設されました。

式典には、篠原市長のほか学校関係者や地域住



民の方たちなど約30名が参加し、開所を祝うテープカットなどが行われました。

式典で篠原市長は「就労と子育てを両立する保護者を支えるとともに、子どもたちにはクラブを通じて社会性や協調性を育んでもらいたい」と期待を寄せていました。

3 / 28

## 54年の歴史に幕 西保育園で閉園式



3月28日に西保育園で卒園式と閉園式が行われました。

同園は、昭和43年に中之庄団地の造成による地元住民の要望を受け、伊予三島市立三島西保育所として開園。最盛期は約90名の園児が通っていましたが、著しい園児数減少と施設の老朽化により、閉園が決定しました。



閉園式では、篠原市長から「今日まで西保育園を支えてくださった保護者や地域の関係者の皆さまに感謝します」とお礼の言葉がありました。

最後は、多くの園児を見守ってきた園庭の桜が咲き誇る中、記念写真を撮影するなど思い出の詰まった園舎に別れを告げました。

3/16 大黒工業株式会社が紺綬褒章を受章



新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむひとり親世帯と飲食業者を応援するため、昨年市に多額の寄付をされた大黒工業株式会社（石川忠彦代表取締役会長）に国から紺綬褒章が贈られました。

4/13 青柳美扇氏が書道パフォーマンス甲子園アンバサダーに就任



あおやぎせん  
青柳美扇氏（書道家 / アーティスト）に、書道パフォーマンス甲子園アンバサダーの委嘱状が交付されました。しこちゅ〜ホールで行われた就任式の様子は、広報6月号で特集する予定です。

4/4 市選挙管理委員の田中鐘暁さんが総務大臣表彰を受賞



第49回衆議院議員総選挙において公明かつ適正な選挙が行われるよう、さまざまな機会を通じて市民の政治意識の醸成に寄与されたとして、田中鐘暁さんが総務大臣表彰を受賞されました。

3/16 川之江先輩塾が文部科学大臣表彰を受賞



川之江高校の卒業生などで構成される有志のグループ「川之江先輩塾」が提供する、同校の生徒をはじめとした若い世代の人に対する学びの場が認められ、文部科学大臣賞が贈られました。

3/25 令和4年全国柔道選手権に出場！



あがゆめと  
県警の阿河夢斗さん（三島高校卒）が3月6日に阿南市で開催された「第71回四国柔道個人選手権大会」で上位の成績を収め、全国大会への出場権を獲得したことを市長に報告しました。

3/25 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に出場！



川之江南中1年の久保翔太郎さんが、香川県で開催された「春季全国JO香川県最終予選会」で水連参加標準記録を突破し、全国大会への出場権を獲得したことを市長に報告しました。

3 / 14

### アステラス製薬株式会社が 高規格救急車を寄贈



令和3年度寄贈救急自動車事業（総務省消防庁）に基づき、アステラス製薬株式会社から市消防本部に高規格救急車が寄贈されました。新車両は嶺南分遣所で3月30日から運用しています。

3 / 30

### 四国中央市・明治安田生命保険相互会社 「健康増進に関する連携協定」締結



この協定により、市と明治安田生命保険相互会社（岸本正宏松山支社長）が相互連携し、人的・物的資源を有効活用し、市民の健康増進に関する取り組みを推進していきます。

4 / 1

### 地域おこし協力隊新規着任辞令交付式



地域おこし協力隊として着任する大廣<sup>まさや</sup>将也さんに辞令が交付されました。本市出身の大廣さんは、旅行会社などで勤務した経歴を活かし、新宮地域を活動拠点として移住環境の整備を行います。

3 / 21

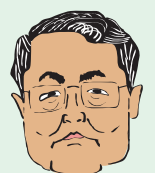
### 四国中央市福祉なんでも相談会を開催



しこちゅ〜ホールで開催された相談会には、市内の障がい福祉サービス事業所など約40団体が参加し、来場者の質問や相談に応えたり、各事業所を動画やパネルなどで紹介したりしました。

## 市長の ひとりごと

ひとりごと



四国中央市長  
篠原 実

### 皐月・端午の節句・鯉のぼり

令和4年度がスタートした。人事は非喜こもごもだろう。40名の市役所新職員も1か月が経過する。人生という絵の描かれていないキャンパスに自分の足でデッサンしていく。消しゴムで下絵を何回もやり直しをしながら、日々自分の心が映る鏡をはあはあ・と熱い吐息で曇りをけしつ、苦闘するのである。自分の足跡を振り返ると、あの峠、あの谷川を超えてきたこと、自分を褒めてやりたいという気持ちは何れの階段の年齢は別にしてやってくる。疲れた時は、足を止めてごろんとアリの噛まれないように寝そべることである。もし空が晴れていたら、お日様と雲が全宇宙のように目に飛び込んでくるだろう。

この足のこの手の背中に、職場の人間、いつも一緒に家族をすべて抱えて立ち上がる元気があれば、起き上がってまた歩こう。

いろんな人が、自分を支えてくれていたことに気がつくであろう。